

2018 袖ヶ浦フォレスト・レースウェイ

パンサー耐久

車両及び進行に関する規則書

【車両規則】

- 車両 パンサーツアー車両規則に準ずる
- ギヤ比 12X66
- 最低重量 150kg 以上
- 1 チーム 2 名以上
- 燃料規制 決勝イベントに使用される総量 第 1 回は 180 2 回目以降は 200

【練習走行・タイム計測】

1. 計測開始は先頭車両がコースイン開始しコントロールラインを通過したら計測開始です。このときコントロールライン上のシグナルは赤～青に変わります。
2. パンサー袖ヶ浦耐久イベントすべての走行時は、**3 コーナー～4 コーナーは追い越し禁止区間**とさせていただきます。
3 番ポストに黄旗が常時提示されています。

【決勝スタート前】

1. 各チームは燃料(180or200)を指定の保管場所に預け指定の給油場所にて給油を行う（各指定場所は当日発表）
2. 練習走行終了後、速やかに車両のガソリンタンクを空にしてください。
3. スタート車両のみ指定場所にて保管燃料より給油。
4. 給油は給油スタッフの確認のもと、スタート時の給油量は**自由**です。
5. 給油後はカートスタンドに載せコース上にグリッド整列してください。
その後ピットに車両を戻す事はできません。
6. グリッド順は練習走行タイム順によって決定します。
- 7.

【決勝について】

1. スタート方法は**スターティングスタート**とします。ただし、天候によっては**一列ローリングスタート**になる場合があります。
2. ドライバー交代のみは**ドライバー交代エリア**で行ってください。
3. ドライバー交代エリアでの作業は一切できません。**(チェーン OIL 塗付作業も含む)**
4. 決勝中は給油量制限なく全車指定場所にて保管燃料を給油できます。
5. 1チーム二台のチームはトランスポンダを付け替えます。
6. 1回のピットにつき6分間停止
7. 全チームピットストップ回数は 150分の場合3回以上 180分の場合4回以上(給油含む)
8. ルーキードライバーがいるチームは4分/回とする。(ルーキードライバーの認定は事務局長の判断とする。)

【給油について】

1. イベント時給油作業は給油エリアでのみ給油できます。
※ピット・パドックでの給油はできません。
2. 携行缶は指定場所にて保管してください。
3. イベント中の給油量は制限なく給油できます、
4. 給油レーンは**3台**まで給油ができ、待機車両は**2台**までが可能です。
5. 給油エリアでは**チーム給油スタッフ1名とドライバー2名の合計3名**で行ってください。
6. 給油エリアでは**チェーン OIL 塗付作業のみ**ができます。給油後は必ずドライバー交代を行ってください
7. 燃料のおかわりについて 5000円/20(現金払いのみ)で販売致します。
(使途については年末表彰パーティー及び日本赤十字社への寄付といたします)

【チェッカー】

1. 順位の決定はチェッカー優先とします。
2. ガス欠や車両トラブル等により車両を押してのチェッカーは認めません。
3. チェッカー**10分前**からの**SC**の導入は致しません。
4. **3時間経過(第1回は150分)**の時点で**トップ車両**からチェッカーが振られます。

イベントに関する最終判断はすべて主催者に委ねられる。

またその際の決定に対していかなる抗議も認めません。

【ペナルティについて】

累積されたペナルティは、メインポストよりゼッケンボードと黒旗提示をします。警告を受けた車両は(5周以内に)スタッフが指示をした場所に停車してください。**120**秒のピットストップが課せられます。

主なペナルティ

ピットロード出口のホワイトラインカット

フラッグ無視

シグナル無視

ピットロードスピード違反

給油レーンでの作業 等

赤旗中断

1. 重大な事故等によりコース上が閉鎖され危険な状態である場合、または天候その他の理由により走行の継続が不可能となったためイベント中断する必要がある場合は、メインポストにおいて赤旗が表示され、コントロールライン上のシグナルは赤色点滅します。
2. 走行中断の合図と同時に全ての走行車両は追い越し追い抜きが禁止となり、直ちに停車できるスピードで走行した後、オフィシャルの指示に従ってホームストレート上に停車してください。
3. 走行中断の合図と同時に、全ての車両のピットインは認められません。
4. ピットインをしている車両は、全ての作業を行う事ができるが、コースインはできません。
5. 以下の条件によって走行を再開することができます。

再スタート

1. 車両はホームストレート上に停車しエンジンを停止してください。
2. この時、コース上でのドライバー交代や点検作業等は認められません。
3. イベント継続が可能な場合、赤旗表示の周回は無効とみなされます。
先頭を走行していた車両（先頭車両がピット中の場合は、第2位を走行中の車両。）を先頭に、中断された周回の直前の周回が終了時点の走行順位に車両は整列し直されます。
4. 再スタートは、スタート 1 分前のグリーンフラッグが表示され通常のスタート手順を再開します。
5. 計時は止めないものとします。
6. ドライバー走行時間をオーバーしているチームは主催者判断とします。

セーフティーカーの導入

1. 事故や車両トラブルによりコースは閉鎖されてはいないものの走行の継続に支障がある状態（コースアウト、車両トラブル、自力での脱出が不可能で回収作業を要すると判断された場合等。）の場合、または、天候、その他の理由から走行の継続に支障はあるが中断する必要がない場合、フルコースコーションとなりセーフティーカー（S C）が導入されます。
2. S C導入が決定されるとメインポスト、「S C」ボードと黄旗が表示され、コントロールライン上のシグナルは黄色点滅となります。
3. S Cは、走行中の先頭車両に関わらずコースインします。
4. 上記の合図と同時に全ての走行車両は最徐行とし、コース上においてS Cを含む他の車両の追い抜き追い越しを禁止します。
「最徐行」とはフォーメーションラップ時の速度を言い、安全と認められない速度で走行する車両はペナルティの対象となる場合があります。
5. S Cがコースインしたら、全車両はいち早く一列の隊列を整えてください。また、隊列を整わせるために、前車との間隔を詰めるための努力をしてください。
6. S C先導で走行車両の隊列が整うまでの間、ピットアウトは認められません。
7. コース上の安全が確保されるまでS C先導のまま周回を重ね、その間の周回数はカウント（ドライバーの走行時間も継続されます。）され通常の給油作業やドライバー交代、点検作業等は認められます。
なお、ペナルティの消化は認められません。
8. S C解除（再スタート）はS Cがホームストレートを走行し走行ラインを内側に変え、コントロールライン上のシグナルが緑色に点灯したら解除（再スタート）となります。

